平成25年度 四万十町財務状況把握の結果概要

都道府県名	団体名
高知県	四万十町

財政力指数	0.21	標準財政規模(百万円)	9,138
H26.1.1人口(人)	18,837	平成25年度職員数(人)	239
面積(Km³)	642.09	人口千人当たり職員数(人)	12.7

<人口構成の推移>

(単位:千人)

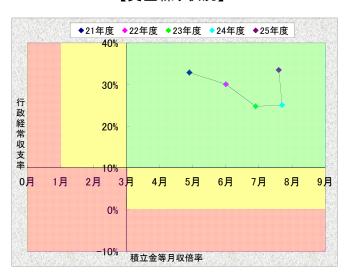
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\												
年齢別人口構成					産業別人口構成								
	総人口	年少 人口 (15歳未満)	構成比	生産年齢 人口 (15歳~64歳)	構成比	老年 人口 (65歳以上)	構成比	第一次 産業 就業人口	構成比	第二次 産業 就業人口	構成比	第三次 産業 就業人口	構成比
12年国調	21.8	2.9	13.3%	12.0	55.1%	6.9	31.6%	3.3	29.2%	2.7	23.8%	5.2	46.9%
17年国調	20.5	2.5	11.9%	10.9	53.0%	7.2	35.0%	3.0	29.1%	2.1	21.1%	5.0	49.7%
22年国調	18.7	2.1	10.9%	9.5	50.6%	7.2	38.5%	2.9	31.9%	1.6	17.4%	4.6	50.7%
22年国調	全国		13.2%		63.8%		23.0%		4.2%		25.2%		70.6%
22十国副	高知県		12.2%	_	59.0%	•	28.8%		12.4%		17.5%		70.0%

◆ヒアリング等の結果概要

【債務償還能力】

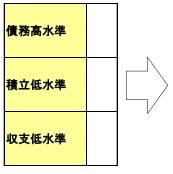
◆21年度 ◆22年度 ◆23年度 ◆25年度 40% 40% 30% 6月 10% 20% 20% 15年 40% 20%

【資金繰り状況】



[財務上の問題]

[要因分析]



	債務高水準		積立低水準		収支低水準	
建設債			建設投資目的の 取崩し		地方税の減少	
	債務負担行為に基づく 支出予定額		資金繰り目的の 取崩し		人件費・物件費の 増加	
	公営企業会計等の 資金不足額		その他		扶助費の増加	
実質的な 債務	土地開発公社に係る 普通会計の負担見込額				補助費等・ 繰出金の増加	
	第三セクター等に係る 普通会計の負担見込額				その他	
	その他					
その他	•		1			

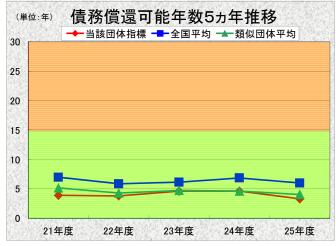
◆財務指標の経年推移

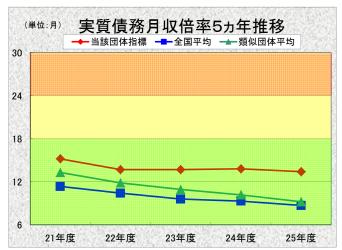
<財務指標>

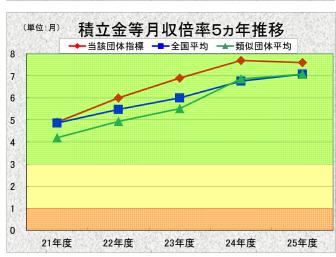
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
債務償還可能年数	3.9年	3.8年	4.6年	4.6年	3.3年
実質債務月収倍率	15.2月	13.7月	13.7月	13.8月	13.4月
積立金等月収倍率	4.9月	6.0月	6.9月	7.7月	7.6月
行政経常収支率	32.9%	30.1%	24.8%	25.1%	33.5%

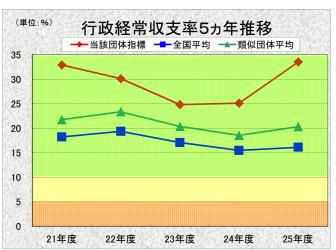
類似団体区分	
町村W一〇	

類似団体 平均値	全国 平均値
4.0年	6.0年
9.2月	8.7月
7.1月	7.1月
20.3%	16.1%





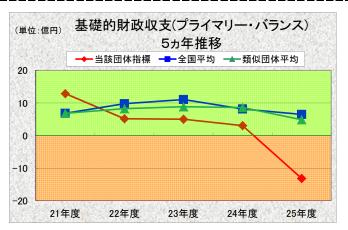




<参考指標>

(25年度)

健全化判断比率	団体値	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	ı	13.49%	20.00%
連結実質赤字比率	ı	18.49%	30.00%
実質公債費比率	9.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	31.2%	350.0%	_

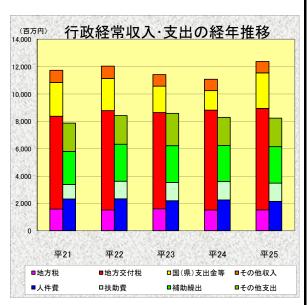


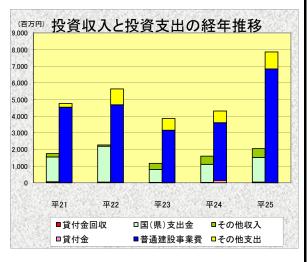
基礎的財政収支 ={歳入一(地方債+繰越金+基金取崩)} ー{歳出ー(公債費+基金積立(※))} (※)基金積立には決算剰余金処分による積立額を含まない。

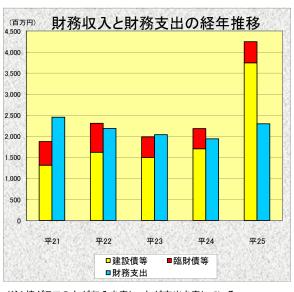
- ※1. 債務償還可能年数について、分子(実質債務)がマイナスとなる場合は「0.0年」、分母(行政経常収支)がマイナスとなる場合は「一」(分子・分母ともマイナスの場合は「0.0年」)として表示している。
 - 2. 右上部表中の「類似団体平均値」及び「全国平均値」については、各団体の25年度計数を単純平均したものである。
 - 3. 上記グラフ中の「類似団体平均」の類型区分については、25年度の類型区分による。
 - 4. 平均値の算出において、債務償還可能年数と実賃債務月収倍率における分子(実賃債務)がマイナスの場合には「0(年・月)」として単純平均している。

ーーー ◆行政キャッシュフロー計算書

					(百万円)
	平21	平22	平23	平24	平25
■行政活動の効■					
■行政活動の部■	4 500	1 510	1 007	4.547	4.500
地方税	1,580	1,519	1,607	1,517	1,532
地方譲与税・交付金	411	423	398	360	359
地方交付税	6,790	7,267	7,039	7,305	7,420
国(県)支出金等 分担金及び負担金	2,469	2,354	1,927	1,429	2,596
・寄附金	83	99	61	66	67
使用料·手数料	263	249	253	267	269
事業等収入	138	132	136	132	138
行政経常収入	11,735	12,044	11,420	11,075	12,38
人件費	2,323	2,337	2,198	2,249	2,148
物件費	1,704	1,736	1,999	1,732	1,77
維持補修費	65	76	100	74	6
扶助費	1,061	1,289	1,327	1,349	1,33
補助費等	1,151	1,451	1,346	1,273	1,25
繰出金(建設費以外)	1,261	1,250	1,346	1,366	1,41
支払利息	306	277	269	255	23
(うち一時借入金利息)	(3)	(2)	(1)	(2)	(1
行政経常支出	7.870	8,417	8,585	8.299	8,23
行政経常収支	3,865	3.627	2.835	2,777	4,15
特別収入	631	410	322	289	15
特別支出	499	437	230	304	5
行政収支(A)	3.997	3,600	2,927	2,761	4,25
■投資活動の部■	0,997	3,000	2,321	2,701	4,20
国(県)支出金	1,485	2.157	776	1,082	1,48
分担金及び負担金		•			
· 寄附金	26	18	19	20	1.
財産売払収入	16	59	88	99	7
貸付金回収	64	41	23	27	3
基金取崩	160	2	262	374	43
投資収入	1,751	2,276	1,167	1,602	2,04
普通建設事業費	4,535	4,687	3,157	3,455	6,83
繰出金(建設費)	99	60	70	85	20
投資及び出資金	10	2	1	5	
貸付金	3	_	2	150	
基金積立	118	886	632	616	81
投資支出	4,765	5,635	3,863	4,312	7,85
投資収支	▲ 3,014	▲ 3,359	▲ 2,696	▲ 2,709	▲ 5,81
■財務活動の部■					
地方債	1,875	2,308	1,983	2,182	4,24
(うち臨財債等)	(562)	(687)	(486)	(480)	(503
翌年度繰上充用金	-	-	_	_	
財務収入	1,875	2,308	1,983	2,182	4,24
元金償還額	2,450	2,186	2,037	1,940	2,29
(うち臨財債等)	(222)	(246)	(269)	(292)	(513
前年度繰上充用金					
財務支出(B)	2,450	2,186	2,037	1,940	2,29
財務収支	▲ 575	122	▲ 54	242	1,95
収支合計	408	363	177	294	39
償還後行政収支(A-B)	1,547	1,414	890	822	1,95
■参考■					
実質債務	14,883	13,716	13,058	12,712	13,88
(うち地方債現在高)	(19,506)	(19,628)	(19,574)	(19,817)	(21,766
積立金等残高	4,799	6,045	6,592	7,126	7,90
	/	,•	/ -	, •	.,







(注)棒グラフの左が収入を表し、右が支出を表している。